

文化庁 令和3年度補正予算(案)の概要

I. 「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え

○コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業(ARTS for the future!等) 556億円

コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援のため、文化芸術関係団体が感染症対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、活動の充実・発展を図る取組を支援する。

○文化施設の活動継続・発展等支援事業 24億円

文化芸術活動の基盤となる博物館や劇場・音楽堂等の文化施設に対して、活動継続・発展を促すため、ウィズコロナを見据えた活動再開・再生に向けた支援を実施する。

○ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業 41億円

入国が困難な外国人留学生への日本語教育環境を構築するため、オンラインを活用した日本語教育を実践・検証する。

II. 未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動

○地方活性化のための文化財保存・活用支援事業 82億円

魅力ある地方を創出し地方の活力を引き出すため、地域の宝である文化財の保存・活用への支援を実施する。また、「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」等を踏まえ、文化財の必要な防火・防災対策や緊急性が高い国指定等文化財の修理・整備を早急を実施する。

○観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業 6億円

富裕層などの上質な観光サービスに相応の対価を支払う旅行者の長期滞在・消費拡大に向け、適正な収益を生む持続可能な文化観光コンテンツの造成を支援し、文化施設や文化資源の高付加価値化を促進する。

○ウィズコロナにおける日本博事業 17億円

コロナ禍でも文化資源の魅力発信・誘客効果を高める工夫を講じつつ実施される新規性・創造性の高い事業や地域の文化芸術資源を活用した事業への支援、国内外への戦略的プロモーションを行い、観光需要の喚起、地方活性化とともに文化芸術立国の実現等を図る。

○地域の伝統行事等のための伝承事業 65億円

国指定等文化財や地域に古くから継承されている地域固有の伝統行事等に対して、相談窓口を設置し、伝承のための適切な支援を検討の上、オンライン配信等による活動の継続を図るとともに、山車・衣装等の用具の修理等、伝承基盤の整備及び発展的開催のための支援を行う。

○子供の文化芸術の鑑賞体験等総合パッケージ

55億円

新型コロナウイルス感染症の影響等により失われた子供の文化芸術の鑑賞・体験機会や伝統文化等の体験・習得の機会を提供するとともに、劇場・音楽堂等における子供の実演芸術の鑑賞・体験の機会を提供する取組を支援する。

○国立文化施設等の機能強化等

52億円

国立文化施設における「バーチャル展示」などの先端技術を活用した展示手法の開発や、現代舞台芸術におけるグローバルコンテンツ作りなど、ウィズコロナにおける日本発のコンテンツ強化を推進するとともに、安全、安心を確保した魅力的な観覧環境等の整備を実施する。

Ⅲ. 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保

○被災文化財等の災害復旧

7億円

令和3年7月豪雨等の自然災害により被害を受けた国指定文化財等の早急な修理・整備を実施する。

合 計

905億円